

1	がん検診の概要
---	---------

1. 出張型がん検診の種類及び検診項目

胃がん検診	胃X線検査
胃がんハイリスク検診	ペプシノゲン検査 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査
肺がん検診	胸部X線検査または胸部CT検査 高危険群に対する喀痰細胞診検査
大腸がん検診	免疫便潜血検査
子宮がん検診（頸部）	子宮頸部の細胞診検査
子宮がん検診（体部）	子宮体部の細胞診検査（個別医療機関方式でのみ実施）
乳がん検診	マンモグラフィ・超音波検査・視触診検査
前立腺がん検診	前立腺特異抗原（PSA）検査

2. 判定区分

異常認めず	今回の結果では、異常所見は認められませんでした。
精検不要	所見が認められますが、精密検査の必要はありません。
要精検	所見が認められます。医療機関で精密検査を受けてください。
判定不能	撮影不良や標本不良などの原因で判定できませんでした。

3. がん検診受診者数の推移

	地域検診		職域検診		総数	
	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度
胃がん検診	48,179	52,121	19,371	19,803	67,550	71,924
胃がんハイリスク検診	1,739	—	—	—	1,739	—
肺がん検診	63,480	65,901	6,043	6,393	69,523	72,294
大腸がん検診	62,696	61,077	21,341	21,626	84,037	82,703
子宮がん検診（頸部）	40,658	41,113	3,535	3,331	44,193	44,444
子宮がん検診（体部）	2,795	2,719	—	—	2,795	2,719
乳がん検診	42,865	43,005	3,946	3,652	46,811	46,657
前立腺がん検診	21,117	21,294	2,488	2,639	23,605	23,933

今年度は、平成21年度から実施していた「女性特有のがん検診推進事業（子宮頸がん検診、乳がん検診無料クーポン検診）」に「大腸がん検診」が加わり、「がん検診推進事業」として開始され、大腸がん検診の受診者が増加した。また、4月より大田原市において胃がんハイリスク検診が開始され、新規受診者が増加した。

がん検診全体の受診者数は、震災による受診環境の変化が影響し減少した。